第 90 回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２５年３月１１日提出）

基礎力テスト報告会「本学 1 年生のジェネリックスキルーPROG からみる傾向と課題」

【趣　旨】

昨秋、各学部の 1 年生を対象に実施していただいた基礎力テスト（PROG）の分析結果を報告します。全体傾向とともに学部毎の特徴や他大学との比較、さらに学生向け解説会での様子などを総合して、本学 1 年生のジェネリックスキルの状況と今後の教養教育の課題を整理します。

【対　象】　教務委員会委員、教養教育実施専門部会委員、モジュール科目小委員会委員（特に全学モジュール・テーマ責任者）及び大学教育機能開発センター兼務教員

【日　時】　平成２５年２月 18 日（月）16:00～17:30

【場　所】　長崎大学文教キャンパス　事務局３階　第２会議室

【講　師】　松村直樹氏（株式会社リアセック　代表取締役）

【主　催】　教務委員会

【企画・運営】　評価・FD 教育改善専門部会

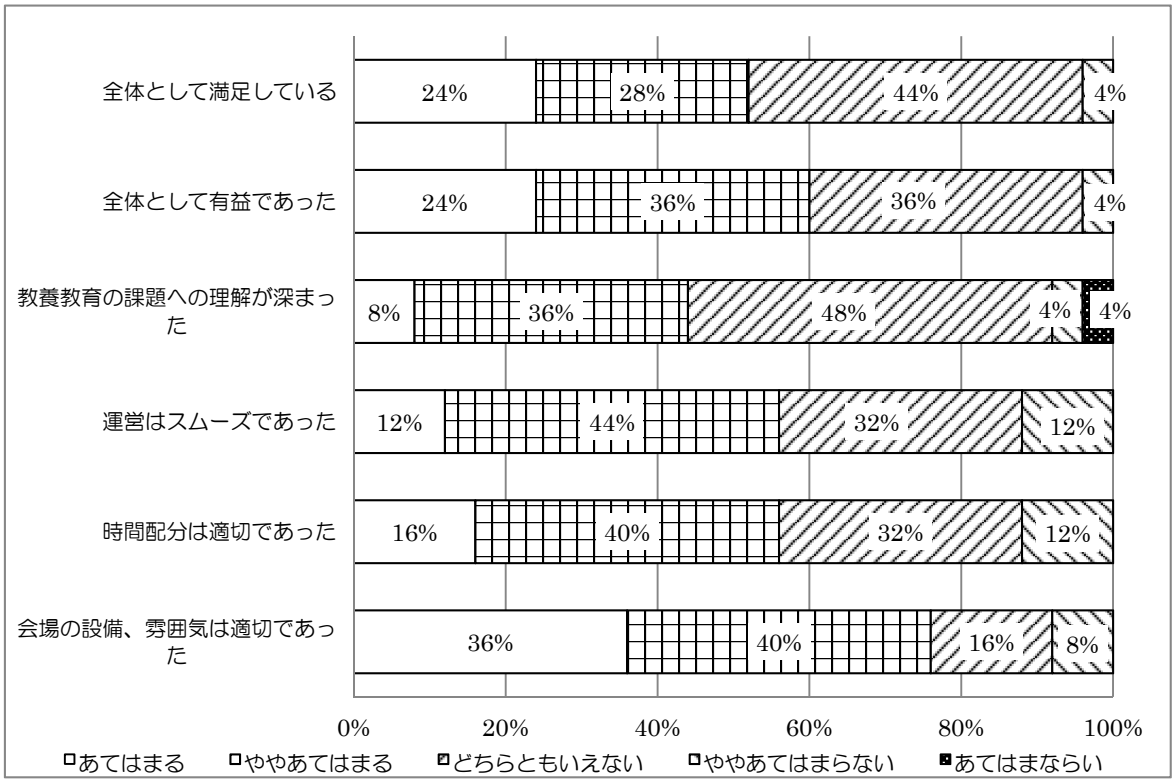
【参加者】

３１名（受講証発行対象者：３１名（教員名２３名　事務職員８名））

所　　属	人　数
教育学部	4
経済学部	2
医歯薬学総合研究科（保系）	2
医歯薬学総合研究科（歯系）	2
医歯薬学総合研究科（薬系）	3
工学研究科	6
水産・環境科学総合研究科（環境）	6
水産・環境科学総合研究科（水産）	3
情報メディア基盤センター	2

学生支援部	1
計	31

【参加者からの評価】



○　今回参加なさって、何か疑問点や感想、ご意見などがありましたら、ご記入下さい。

- 長大のおおまかな全体的傾向や他大学との大きな類似、違いが幾らか理解できて、今後役に立つと思われる。（学生にもこの結果を伝えることができれば良いだろうと思われる。）
- 教養教育とのつながり、どういうやり方（教育）が適切か、その指導方法などのヒントがあると良かった。（グループ討論を取り入れると効果がある、など）
- 医師・歯科医師など免許を得ることを目的としている学生のモデルも欲しい。
- プログの全体像を知ることができた。
- ＰＲＯＧによって有益な情報は得られないことがわかった。
- 海外（米国）での例があるのではないでしょうか。ジェネリックスキルの定量化をＰＲＯＧで本当に測れるのか疑問に感じます。（特にコンピテンシー）
- 大学全体、所属学部学生の多面的な能力の一端がみれたような気がしました。
- 学部毎のデータが欲しい。（全受験生に対して）

- モジュールは１つの学部で行うのではないので、学部別は意味がないと思う。全学的に同一講義を受けるグループでの集計が必要である。
- モデル集団は若手ビジネスマンだけでなく、薬学部なら薬剤師も考えられるとの話しがあったが、教育学部なら教師など、分析ができたら良いと思う。
- 各学部の説明は、わざわざ行う必要はないと思う。もっと質問の時間が欲しいと思う。
- 他大学と合わせた平均値と比較しているが、その意味がわからなかった。平均値をみて対策を講じるように思えたが、分布を考慮したら異なる対策が出てくるのでは。
- 問題内容の解答から真にその能力が判定できるのか疑問に思った。

○ 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入下さい。
- 現状で良いかと思います。
- データの見方は説明していただければ容易に理解出来るので、問題の解説なども欲しかった。
- 別途、数値が判別できる大きさの資料を配付して欲しい。グラフが見にくかった。

○ 今後、ＦＤ・ＳＤのテーマや実施方法などに関して何かご希望がありましたら、ご記入ください。
- ジェネリックスキルを向上させる教育方法。

【総　括】

初めての試みであった本学１年次生に対するPROGの結果については、参加者の大多数が非常に興味を示した。特に、各学部毎の傾向及び比較に対していくつかの熱心な質疑が行われた。PROG が行われたことは、教養教育に携わっている教員以外にはあまり知られていない可能性があるが、学部に進学した後、卒業までの後期専門教育を行うに当たり、PROG の結果は十分に参考になる可能性があり、今回の内容は学部教育への参考としてより広く教員に知らしめる必要があると感じた。

PROGにより測定された基礎力は、学生本人にとっても非常に参考になると思われるが、それをどのように今後に生かすかは各自に任せられている。一方、教員側は、テスト結果をどのように解釈するかによって対応が全く異なってくると思われる。教養教育の目標達成のためには基礎力の向上を目指す教育を行うよう努力する必要があろう。しかし、弱い部分を欠点としてとらえず、個性としてよりポジティブにとらえ、それを補うほどの長所をさらに磨くという考え方も成り立つであろう。（文責　池田 通）